

令和3年度 子どもゆめ基金20周年記念事業 親子でお泊まり会（6年目）

1 事業概要

5歳から6歳の年長児とその親子が参加した。親子や参加者同士でアイスブレイクをしたり、自然の中でハイキングや工作、野外炊飯をしたりした。それらの活動を通して、親子の絆や参加者同士の親睦を深めることができた。また、食事や睡眠など基本的な生活習慣が身に付くよう、読み聞かせ等を通して啓発を行った。



2 事業の目的（ねらい）

幼児期に必要な「早寝早起き朝ごはん」を中心とした基本的な生活習慣の確立を図る。また、親子の絆や参加者同士の親睦を深め、親同士のネットワークを構築することを目的とする。



3 企画のポイント

昨年度の反省を踏まえながら事業の見直しを図り、ねらいを①基本的な生活習慣の確立を図ること、②親子の絆や参加者同士の親睦を深めることの2つに設定した。①では、入所オリエンテーションの所長挨拶で「早寝早起き朝ごはんポケットガイド」を使って、睡眠の大切さを働きかけるとともに、読み聞かせの啓発を行った。②では、アイスブレイクを取り入れたり、野外炊飯時の準備をグループで行ったりすることで、参加者同士が交流できる機会を設定した。また、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を十分に講じることによって、できる限りたくさんの方に参加してもらえるようにした。

4 主催 独立行政法人国立大洲青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

5 後援 大洲市教育委員会

6 期日 令和3年10月30日（土）～10月31日（日）

7 対象 5歳から6歳の年長児とその保護者

8 参加人数 乳児1名 幼児29名 小学生6名 高校生1名 保護者28名 計65名

9 参加費 保護者 2,250円 幼児 1,300円



10 講師 出原 大 氏 (松山東雲女子大学 准教授)

山中 登代美 氏、渡辺 恵子 氏 (おんぶしてだっこしての会)

新 留美子 氏、濱田 あさよ 氏 (おんぶしてだっこしての会)

11 日 程

13:00	13:30	14:00	14:30	17:15	18:15	19:30	20:15
受付	オリエン テーション	アイス ブレイク	秋の野山に 出かけよう！	夕食	入浴	読み 聞かせ	就寝
6:30	7:30	9:00	10:00	12:30			
起床 準備	朝食 清掃	ゆったり タイム	野外炊飯体験 ピザ作りに挑戦	解散			



12 活動内容

【1日目】

「アイスブレイク」

親子の絆や参加者同士の親睦を深める目的で、アイスブレイクを行った。子供も保護者もグループ内ですぐに打ち解け、和やかな雰囲気の中で活動する姿が見られた。

「秋の野山に出かけよう！」

出原先生の指導のもと、施設敷地内にある自然豊かな鶉が森を舞台に、ハイキング、シャボン玉、木工クラフト体験を行い、親子で楽しい時間を過ごすことができた。

「読み聞かせ」

参加は任意であったが、多くの家族が参加した。基本的な生活習慣を身に付けたり感謝の気持ちをもって食事をしたりすることの大切さについて学ぶことができた。

【2日目】

「野外炊飯体験 ピザ作りに挑戦」

グループで打ち解け合い協力して食材を準備したり、火おこしをしたりする姿が見られた。生地からピザを作るのは初めての幼児がほとんどで、戸惑いながらも親子で楽しみながら活動する姿が微笑ましかった。

13 参加者の声

事業後アンケート結果 (保護者 24 名)

*満足 : 87.5% *やや満足 : 8.3% *やや不満 : 4.2% *不満 : 0.0%

○ 新型コロナウイルスの影響で外出が難しい中、自然体験や宿泊ができてよかった。

○ もう少し時間的な余裕があるとよかった。

14 事業の成果

事業の目的を達成するために、講師と準備物や会場の設定などの打合せを入念に行った。活動中に沸き起こる子供たちの歓声や活動後の保護者の満足そうな笑顔から、目的を達成することができたものとする。

15 事業の課題

対象が年長児のため、野外炊飯時の安全管理には、よりいっそうの配慮が必要となる。ボランティアを含めた人員やゆとりをもった十分な活動時間の確保など、安全管理に努めていきたい。

(担当：企画指導専門職 徳田 義実)